

令和4年度 認定こども園帯広の森幼稚園

自己点検・評価シート

1) 認定こども園帯広の森幼稚園の教育目標

<p>自然や身近なものに関心を持ち、遊びを中心とした生活を通じて、21世紀をたくましく生きぬく幼児の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎丈夫な体の子どもを育てる ◎仲良く遊べる子どもを育てる ◎自分で考える子どもを育てる <p>【めざす子ども像】</p> <p>『生きる力を身につけた 明るく たくましい子ども』</p> <p>生きる力⇒丈夫な体、豊かな心、考える力</p>
--

2) 本年度の重点的に定めた教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を活かした幼稚園運営を行う。 ・子ども・保護者・教職員が安心して自分の力を発揮できる人間関係の構築を図る。 ・子どもの実態や課題、保護者や地域の願いを捉え、幼稚園教育にかかわる様々な人たちの参画を得て、教育目標の達成を目指す。 ・子どもの成長を大切にしたい園行事の充実・保育内容の実践に努める。
--

3) 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価結
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、保育方針や計画（内容）を保護者に伝えてはいますか ・幼稚園は、一人一人の子ども達を理解し、子ども達に寄り添った保育を行っていますか ・幼稚園は、子ども達の個性や特性を大切に、意欲や主体性を育む保育を行っていますか 	B (4.1)
園の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、職員間の信頼関係・協働関係・共通理解を大切にしていますか 	D (3.4)
研修・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、園内研修の計画・運営は適切に行っていますか ・幼稚園は、各種研修会や講習会への積極的な参加に努め、報告・交龍活動を行っていますか ・幼稚園は、挨拶や返事など、基本的生活習慣の指導に努めていますか 	B (4.0)
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、「園便り」「クラス便り」「ホームページ」等で園の情報を発信していますか ・幼稚園は、子ども達の幼稚園での様子を保護者に伝えてはいますか 	A (4.3)
保健・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、遊具や用具等を活用しやすいように整理・保管していますか 	B (4.0)
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は、保護者の意見を園の運営に反映していますか ・幼稚園は、保護者との共通理解に努め、誠意を持った対応に努めていますか 	B (4.1)

子育て支援	・幼稚園は、参観日や行事などを通じて、開かれた幼稚園づくりに取り組んでいますか	B (4.2)
預かり保育	・幼稚園は、預かり保育を安心して利用できるよう努めていますか	B (4.2)
環境整備	・幼稚園は、園内外の環境整備に努めていますか	C (4.0)

自己評価結果の表示方法

A：大変良い（4.5点以上）

B：良い（4.0点以上）

C：一部検討が必要（3.5点以上）

D：改善が必要（3.4点以下）

4) 今後の課題と評価

教育課程	2度の緊急事態宣言があったものの、教育課程・指導計画・年間計画は概ね実践することができた。行事については極力中止を避け、時間短縮・人数制限など感染対策を行いながら実施できた。来年度は今年度の反省を踏まえ計画をするよう努める。
園の運営	唯一のD判定で残念な結果となった。保育の質を向上させるためには、職員間の情報共有は切っても切り離せない。目標が共有され、同じ目標に向かうことで職員間の協調性が高まるよう取り組んでいく。
研修・指導	昨年同様、開催された研修のほとんどがオンデマンド・オンラインでの研修となり、より多くの研修に参加することができた。今後も積極的に研修へ参加し、資質の向上に努めていくが、受講した研修の内容をアウトプットする体制作りが今後は重要になる。
情報提供	延期もあったが誕生会は保護者を呼んで実施することができた。また、参観も3回実施し、昨年の反省を踏まえ子どもの様子を保護者に見ていただくことができた。今後も必要な情報を必要な時期に発信できるように努めていく。
保健・安全管理	個々の健康状態に注意を払い、手洗い・消毒・うがい等の保健・衛生にも配慮し指導してきた。安全管理では、不審者を想定した訓練を初めて実施し、今後の課題が明確になった。
保護者・地域との連携	今年度も保護者と直接会う機会が少なく、関係性を築くことが難しかったが、連絡ノートや電話連絡等、子ども達の様子を伝えられるよう心掛けた。また、行事等においてもPTA役員と連携し、協力を図りながら運営に努めてきた。
子育て支援	未就園児教室は緊急事態宣言で予定していた全ての回数を行うことができなかった。幼稚園で遊ぼうよは昨年同様、工夫をしながら開催できた。来年度も引き続き取り組んでいく。
預かり保育	異年齢との交流が普段の保育にも結びついており、子ども同士の関わりが深まっている。今後も安心して利用できるよう取り組んでいく。
環境整備	日々の点検と半年に1度の定期点検を実施。また、投光器の設置や外壁の補修等、より利用しやすく、安全な環境整備に取り組んできた。今後も安心・安全を念頭におきながら環境の充実を図っていく。

令和4年3月30日

学校法人帯広葵学園

認定こども園帯広の森幼稚園

園長 久永 恵子